



# 新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

公益社団法人岩手県トラック協会並びに会員の皆様におかれましては、日頃から労働条件の確保・改善、労働災害の防止、労働者の健康確保など、労働行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、東日本大震災から約5年10か月経過し、この間、復旧・復興関連需要に支えられ、県内経済は緩やかな回復を続けていますが、沿岸部におきましては、昨年の台風10号による被害など、まだまだ大変な御苦勞をされている状況が見受けられるところです。

岩手労働局長 久古谷 敏行

その中で、道路貨物運送業界におかれましては、流通の要として県民生活と産業・経済を支え、重要な役割を担っていただいているところです。

このような状況の下、岩手県の道路貨物運送業における労働災害の発生状況を見ますと、平成21年には休業4日以上死傷者数がこれまでの最少を記録しましたが、平成22年から26年まで5年連続して増加となりました。しかしながら、皆様の御努力などにより、平成27年には減少に転じ、平成28年も10月末時点では前年同期比で減少となったところです。

労働者の安全と健康の確保は、企業経営の根幹をなすものです。岩手労働局では、平成25年から5か年の第12次労働災害防止計画を推進し、労働災害の減少と労働者の健康確保に全力で取り組んでいるところです。会員の皆様方におかれましても、環境への配慮、人手不足への対応等で、苦慮されているところだと思いますが、事業主の方々が率先して労働災害の防止に努めてくださいますようお願い申し上げます。

取組の重点としましては、「荷役作業安全対策ガイドライン」に基づく荷主等との連携協力等による荷役作業中の災害防止対策と併せて、「交通労働災害防止のためのガイドライン」及び「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」に基づき、トラック運転者の睡眠時間や休憩時間の確保に配慮した適正な労働時間管理、走行時間管理の実施等に最大限の御配慮をお願いいたします。

また、岩手運輸支局等と連携し、引き続き「トラック輸送における取引環境・労働時間等改善岩手県協議会」を開催し、長時間労働抑制等の労働条件改善に取り組んでまいります。

年末年始は、慌ただしさに加え、凍結、積雪等の自然要因も加わり、労働災害のリスクが高まる時季になります。岩手労働局では、岩手労働災害防止団体連絡協議会とともに主唱している「いわて年末年始無災害運動」を、12月1日から1月31日までの2か月間展開し、路面の凍結による交通事故や転倒災害等の冬季特有災害の防止についての働きかけを行っていますので、皆様方におかれましても、積極的な取組をお願いいたします。

岩手労働局では、本年も地域における総合労働行政機関として、「公正、適正で安心して働くことができる環境整備」などに積極的に取り組んでまいりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の益々の御健勝と御発展を心からお祈り申し上げまして、新年の御挨拶に代えさせていただきます。